

平成22年流山市教育委員会議第2回定例会会議録

- 1 日 時 平成22年2月17日(水)
開会 午後 2時00分
閉会 午後 3時50分
- 2 場 所 流山市立西深井小学校校長室
- 3 出席委員 委 員 長 松浦 尚二
委 員 辻 孝
委 員 加藤 和代
教 育 長 鈴木 昭夫
- 4 欠席委員 委員長職務代理者 奈良 文雄
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 学校教育部長 渡邊 哲也
学校教育部次長兼教育総務課長 高橋 茂男
学校教育課長 田村 正人
指導課長 寺山 昭彦
生涯学習部長 海老原廣雄
生涯学習部次長兼生涯学習課長 友金 肇
公民館長 直井 英樹
図書・博物館長 川根 正教
- 7 事務局職員 教育総務課庶務係長 矢口 雅章
教育総務課庶務係副主査 新倉 英之
- 8 議案等
(1) 議案
第3号 平成22年度教育費予算案について
第4号 平成21年度教育費補正予算案について
第5号 流山市育英資金給付基金の設置及び管理処分並びに給付に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
第6号 教育委員会表彰について

第7号 流山市学校歯科医の委嘱について

(2) 報告

第2号 臨時代理の報告について

9 議事の内容

(開会 午後2時00分)

委員長

ただいまから、平成22年流山市教育委員会議第2回定例会を開会いたします。

まず、平成22年流山市教育委員会議第1回定例会の会議録をお配りしておりますが、御意見、御指摘がございますか。

(特になし との声あり)

委員長

特になしということですので、承認ということにいたします。

それでは、教育長報告をお願いします。

教育長

皆さんこんにちは。

現在、教員の人事が佳境に入っております。今週から来週にかけて管理職の人事が一通り整理され、その後一般教員の人事に入って、3月の中旬には内示を予定しており、学校教育課を中心に現在進めているところです。

まず報告をいたしますが、昨年末に東部中学校の校長が急に亡くなったことに伴い、2月1日付けで齋藤善道さいとうよしみちさんが新たに東部中学校の校長に着任いたしました。校長としては初めての方です。松戸市教育委員会の教育情報センター所長補佐をされていた方です。新松戸北中学校、六実中学校で教頭の経験がありますし、本市に隣接する古ヶ崎等でも教員をされたことがありますので、地域勘があると思っております。

流山市には小学校の経験のある校長登載者はいるのですが、やはり中学校の経験者が必要との判断です。また、他市との交流を通して、こういう機会に本市の人事対策の一助にもなると思っております。

次に、先週の土曜日(2月13日)に青少年ふれあい運動がありました。これは流山市の青少年社会環境浄化事業ですが、4地区に分かれて延べ634人の参加がありました。平均すると一箇所150人前後の方が参加されたわけです。構成メンバーはPTA、学校職員、市の補導員、子ども会、商工会の代表者等です。普段の地区浄化関係の活動報告等と勉強会です。当日は大変寒い日だったのですが、3時間に渡って繰り広げられました。私は東部中学校の会合に出たのですが、テーマは会場ごとに別々です。インタ ネットや携帯電話の問題、薬物の問題、非行の問題それから孤独の問題、こういったものが現在の

学校の子どもたちを取り巻いている大きな問題です。私が出席した東部中学校では孤独の問題を扱いました。流山は総合して見ると非行の問題は非常に少ないです。ただ、インターネットの問題は2年ほど前に大きな事件がありました。あの件は生徒指導上の問題が大きいと思いますが、大変神経を使いながら学校がそれを指導するという状況にあります。学校の忙しさの中の一つにはこういう生徒指導上の問題が入ってきていることがあります。

それから孤独の問題ですが、子どもが長期欠席である場合には、人との関わりが上手くできていないという問題もありますし、現代の家庭では一人っ子や二人で育ってきておりますので、一見群れているようでも真の関わりがないような子どももいる状況があります。なぜこのような問題が生じるのかということについて、この話合いの中でも取り上げられたのですが、やはり現代社会が生み出しているものなのかも知れません。実は子どもばかりではなくて、大人の世界でもたくさんあるという報告もあります。職場でもそうで、やはりチームを組んで仕事を進めているようでも、実際は孤立化しているという状況があって、それを遅く乗り切っていくタイプの間がある一方で、埋没してしまう人もあり、現在の社会現象になっているのではないかということです。それから、競争社会もそれを生み出しているという指摘もありました。良い解決策というものはないのですが、いずれにしても競争社会的なものは一般企業では当然あるわけですが、それが最近では学校や家庭にも入ってきており、落ち着いて安らげるような場所がなくなっているということが指摘されました。それをなかなか包み込めない家もあるということで、結局学校が抱えることになるわけですが、そういった問題提起がなされたことは大変良かったと思っております。教育の施策を考えていく上で、こういった現在の状況を考えながら、今後の学校教育も生涯学習も進めていくということが重要なのだということが言えたのではないかと考えております。

次に、来年度の予算の件です。これについては後で細かい説明がありますが、ソフトとハードに分けてみると、本日こちらの会場（西深井小学校）で見ていただいたものはハードの部分が多いのですが、現在流山に限らずどこの学校でも全力投球しているのは耐震改修です。流山では耐震改修を他市よりも早めに実施したので、もう先が見えてきました。その際、二重投資にならないように耐震改修に併せて一部改装も工夫し、少ない費用でできるのではないかとということで、先ほど見ていただいた図書室や昇降口の部分はちょっとした工夫です。これらは教育総務課の職員が頑張ってくれました。一方、特色ある地域づくりに学校も寄与してくれるといいと思うのですが、本日見ていただいたのは安心安全もさることながら、やはりこの地区における伝統と歴史を残すという意味もあります。西深井には西深井の良さを残していくということで、

学校のいろいろな改修、改装においても工夫をしてみたという点です。耐震改修はどこに行っても見られますが、今日見ていただいた部分的な改装等については、他の人たちが見るとびっくりするということで、大きなお金がかかっているわけではなく、手間暇かけた結果のものです。それは、職員が工夫してくれた結果です。トイレもそうです。もう少し時間がかかるのですが、すべての学校をそのようにしたいと思います。様式トイレは半分ぐらいは取り入れるということで、一日何回も使うトイレですので、トイレのために学校を嫌がる子もいますから、それもまた工夫しながら頑張っていきたいです。

一方、教育で何が必要かと言えば、やはりソフトなのです。子どもに関わるいろいろな人を雇うことが必要になります。ただし、やはり人件費がかかるものですから、地域支援をはじめ、地域にいろいろ呼びかけまして地域人材を求め。又は地域にある大学等に呼びかけて何とか人件費の増額をしないで済むような形で現在頑張っているところです。来年度、人件費で増えそうなのは、例えば音読・朗読の読書関係は地域支援の形で地域の人材を活用するということで、ほとんどの学校でそれが組み込まれているという状況です。ただ、現在北部中学校が中心となって行っているような、活動しやすくするためにコーディネートする人がどうしても必要なものですから、そういった人については市内で何地区か用意して、地域支援の円滑な活用が図れるようにしようと考えております。一方、英語教育等については、やはり専門の方を導入するというので、英語のスーパーバイザーを入れることを考えております。外国人ならだれでもいいという考えはありません。やはり人物を見て選んでいくつもりです。スーパーバイザーは現在1名おりますが、来年度は2名となる予定です。

それから、学校での心の教育において、今の子どもにとっては映像というものが効果的と考え、力を入れている命、平和、人権、環境について、巡回して観せていこうと考えております。それらの費用については、僅かですが来年度予算で要求しているという状況で、特にソフトの部分で多くなったというものはなく、工夫して進めます。

次に、新市街地には、小学校2校、中学校1校を作るという構想があります。ところが、この地域の人口の今後の動向を見ますと、平成26年がピークということで、その後は横ばいが10年ぐらい続いて、それから下降線になることが予想されており、今から20年前に立てたプランと相当違うのです。今、各地で学校の閉校が起こっておりますが、無駄にならないようにするために、現在の小学校2校、中学校1校の構想を小学校1校、中学校1校の計算をしております。現在ある学校で一時的に児童生徒が増える学校については、プレハブ校舎で対応できるのではないかと。例えば、この西深井小学校も現在の児童数は一番多いときの約4分の1です。そう考えると、今は学級数も子どもの数も少

なくなったわけですから、まだゆとりのある学校はあるという状況で、現在の学区の中で周辺の特徴を持たせて、そちらに魅力を持っていけるような学校にするかということでカバーできるのではないかということです。併せて、小学校2校と中学校1校だと敷地が約6ヘクタール必要です。ところが、小学校1校、中学校1校を併設するというので、今まであったものを一か所に持って来て、ちょうど中間あたりのところに土地の交換が成立しました。それで、小学校と中学校を一か所で作ることによって3.5ヘクタールでできることによって、流山市の財政に相当貢献できるということになります。6ヘクタール必要であったのが、3.5ヘクタールということですから、2.5ヘクタール減ることによって、用地取得費が相当節減になるということで、おたかの森をバックにした場所に敷地を取って、非常に景観も良くなり、自然を生かした建物を作るということで遅くとも平成26年度には開校するという方向で進めていきたいと思っております。

それから先ほどお配りしたプリントですが、平成21年度の教育関係の表彰をまとめてみたのですが、これだけのものを流山の学校や教員がいただけたということは、大変素晴らしいと思っております。例えば、千葉県の教育功労者団体の部は県全体で21団体しかもらっておりません。そのうち二つの学校（新川小学校・常盤松中学校）がいただいております。次の教育広報「真心」に具体的な内容を載せたいと思っております。

次の千葉県児童生徒・教職員科学作品展化学論文の部（学校賞）は県内で2校の表彰ですが、東深井小学校と流山北小学校が団体で受賞しました。

交通安全関係では県内で1校なのですが、長崎小学校が「交通安全優良学校」として表彰されました。

また、読書活動の優秀実践校として、北部中学校が文部科学大臣表彰を受賞しました。これは去年までのものが認められたということであります。これは県内学校の部で小学校2校、中学校1校の中の1校です。

それから、教員表彰の文部科学大臣優秀教員表彰ですが、県内では小学校で14名、中学校で11名、そのうち東葛管内で6名いただいております。流山市では東深井小学校で1名、西初石中学校で1名の2名が表彰を受けました。

次に、千葉県教育奨励賞顕彰は東葛管内で約5,000名の教員がおりますが9名受賞されました。9名のうち2名が流山市で、南流山中学校で1名、南部中学校で1名の教諭が受賞しました。

私からは、以上です。

ただいまの教育長報告につきまして、質疑とかご意見等がございましたらお願いいたします。

委員長

委員

先ほど東部中学校の校長として松戸市から来ていただいたというお話がございましたが、人事異動における他市との教職員の交流は、実際のところどれくらいあるのかということと、それに関する具体的な方針があれば教えていただきたいのですが。

教育長

具体的に何パーセントというものは無いのですが、県の方針としては市町間の交流を積極的にやっというものがあります。管理職はそれぞれの市で全部固めてしまっている現状があります。ただ、教員の任免権は県にあるので、市の教育委員会はあくまでも内申を上げます。できるだけ県の方針に沿っています。現在市内の小中学校23校のうちで他市から来ている管理職は4人です。校長が中学校2名、小学校1名、教頭が小学校1名です。来年度も積極的に交流を行って、そこで違った空気によって経験が生きるようにしたいと思っております。なお、この人数は今現在流山に来ている方であって、流山から他市に行っている人は何人もおります。また、県や国に行っている方もおります。国立科学博物館に行っている方もおります。

委員

交流効果と言いますか、雰囲気や環境の違ったところに行く、あるいは来るということは、具体的に効果はあるのですか。

教育長

その方を通し、交流がしやすくなるという効果があります。例えば、国立科学科学博物館に行っていることによって、児童・生徒がそこに行って勉強してくるというケースもあります。外部に出ることによって、人間としての成長もあるでしょう。

委員長

ほかにございませんでしょうか。

(特になし との声あり)

委員長

それでは、以上で教育長報告は終わりにします。

これより議事に入りますが、議案第3号「平成22年度教育費予算案について」及び議案第4号「平成21年度教育費補正予算案について」は、市長に対する意見の申出を必要とする事項でございます。また、議案第6号「教育委員会表彰について」及び議案第7号「流山市学校歯科医の委嘱について」並びに報告第2号「臨時代理の報告について」は、個人に関する情報が含まれています。よって、これらの議案等につきましては、流山市教育委員会会議規則第

13条第1項の規定により非公開とし、本日の議事日程につきまして当該案件を同会議規則第10条第1項の規定により、各課等報告(4)の後に繰り下げたいと思いますが、御異議ありませんか。

(異議なし との声あり)

委員長

御異議なしと認めます。

議案第3号、議案第4号、議案第6号及び議案第7号並びに報告第2号につきましては非公開とし、各課等報告(4)の後に審議します。

それでは議事に入ります。

議案第5号「流山市育英資金給付基金の設置及び管理处分並びに給付に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。

学校教育部長

(国における高等学校授業料の実質無償化に係る施策の動きに対応するため、平成22年度に係る奨学金の申請の受付を当分の間、行わないこととする旨を説明)

委員長

本案について、質疑等ありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

委員長

質問がないようですので、議案第5号については原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(異議なし との声あり)

委員長

御異議なしと認めます。よって、議案第5号は原案どおり可決することに決しました。

次に、各課等報告について、指導課からお願いします。

指導課長

教育支援センター校外学習について

委員長

次に、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

1 主催事業について

- (1) 古典芸能鑑賞会
- (2) 第 262 回サロンコンサート
- (3) 市民ギャラリー展
- (4) 四季の花々展
- (5) 歩こう会「中山法華経寺めぐり」

2 後援事業について

- (1) 第 5 回サンクスパーティー
- (2) 子育てセミナー

委員長

次に、公民館からお願いします。

公民館長

主催事業について

- (1) 映画と講演のつどい
- (2) 猪股猛プロデュース「スプリング・ジャズコンサート」

委員長

次に、図書・博物館からお願いします。

図書・博物館
長

1 主催事業について

(1) 図書館

赤ちゃんと楽しむ絵本とわらべうたの会

(2) 博物館

博物館子ども教室「古代アクセサリー作り(勾玉)」

2 後援事業について

第 2 8 回公開読書会

委員長

以上の各課等報告への質疑、意見等がありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

特にないようですので、各課等報告についての質疑を終了します。

続きまして、先ほど非公開と決定しました議案第 3 号、議案第 4 号、議案第 6 号及び議案第 7 号並びに報告第 2 号の議事に入ります。

(傍聴人がいないため、退場者なしで審議開始)

議案第 3 号「平成 2 2 年度教育費予算案について」

教育総務課長及び生涯学習課長の説明後、審議に入り、全員異議なく、原案どおり可決された。

議案第4号「平成21年度教育費補正予算案について」

教育総務課長の説明後、審議に入り、全員異議なく、原案どおり可決された。

議案第6号「教育委員会表彰について」

学校教育部長の説明後、審議に入り、全員異議なく、原案どおり可決された。

議案第7号「流山市学校歯科医の委嘱について」

学校教育部長の説明後、審議に入り、全員異議なく、原案どおり可決された。

報告第2号「臨時代理の報告について」

学校教育課長の説明後、審議に入り、全員異議なく、原案どおり了承された。

(非公開案件終了)

委員長

以上をもちまして、本日の教育委員会議に付議された案件の審議は終了いたしました。

それでは、次回の教育委員会議につきまして、事務局からお願いいたします。

教育総務課長

次回の教育委員会議は、3月25日(木)午前10時からとしたいと思います。ですが、いかがでしょうか。

(次回の日程協議)

委員長

次回の教育委員会議は、3月25日(木)午前10時から開催することいたします。

以上で、平成22年流山市教育委員会議第2回定例会を終了します。

(閉会 午後3時50分)